

# 平成13年度2月補正予算について

平成14年2月  
宮城県

## 1 予算編成の考え方

今回の補正予算は、先の1月臨時議会後に確定した改革推進公共投資の国直轄事業負担金などの追加措置のほか、仙台港背後地の新しい活用方策の検討を進めるため、用地先行取得債を償還することとした。また、例年最終補正予算で行っている歳出予算の執行額と国庫支出金等の歳入予算の確定に伴う計数整理を中心に計上した。

なお、平成14年度以降の財源確保に配慮し、当初予定していた地域整備推進基金及び国際化基盤整備推進基金の取崩しを取りやめることとした。

## 2 予算規模等

以上の結果、今回の補正額は一般会計で約1億円の減、総会計では約6.8億円の減となり、補正後の予算額は一般会計で約8,795億円(対前年度最終比0.8%減)、総会計では約1兆1,434億円(対前年度最終比2.2%増)となった。

## 3 主な歳出予算の内訳(総会計)

・ 国直轄事業負担金(改革推進公共投資分等)	約 4.0億円
・ 道路橋りょう事業費(除融雪経費)	約 3.5億円
・ ワールドカップ推進費(JAWOC負担金)	4.6億円
・ PCB廃棄物処理基金出捐金	約 0.4億円
・ 食品リサイクル施設モデル事業費	約 2.3億円
・ 信用保証協会出捐金	約 0.5億円
・ 仙台港背後地整備推進費(用地先行取得債償還)	約 7.2億円